

特別支援教育関係の研修講座

講座名	会場	期日	主な内容	対象者	
発達障がい支援担当教員養成事業	ベーシック研修	・WEB研修 ・各地域のコア・ティーチャー勤務校	各地域6回	・コア・ティーチャーによる講話 ・コア・ティーチャーによる授業の参観と解説 ・オンデマンドによる講話視聴	小中義 希望者
		・WEB研修 ・受講者勤務園	第1回：6月7日（水） 第2・4・5回：自己設定日 第3回：受講者希望日 第6回：2月7日（水）	・大学教授による講話 ・オンデマンドによる講話視聴 ・講師による訪問支援 ・実践交流	幼稚園等 希望者
		WEB研修	第1回：7月12日（水） 第2・4・5回：自己設定日 第3回：9月21日（木） 第6回：2月16日（金）	・発達障がい支援スーパーバイザーによる講話 ・オンデマンドによる講話視聴 ・実践交流	高等学校 希望者
	スタート研修	・WEB研修 ・各地域コア・ティーチャー勤務校 ・受講者勤務校	各地域4回	・コア・ティーチャーによる講話 ・コア・ティーチャーによる授業の参観と解説 ・受講者勤務校でのコア・ティーチャーの訪問支援 ・受講者勤務校でのコア・ティーチャーからの授業への助言	小中義の発達障がいを対象とする通級教室担当1年目
	ステップアップ研修	・WEB研修 ・各地域コア・ティーチャー勤務校	各地域6回	・コア・ティーチャーによる講話 ・コア・ティーチャーによる授業の参観と解説 ・総合教育センターでの特別支援教育に関する講座の受講（5講座） ・実践交流	小中義の発達障がいを対象とする通級教室担当経験2年目以上希望者
重点講話	発達障がいの支援の在り方 ～困ったこと、悩んでいることの中にある宝物～	・勤務校	11月14日（火）	発達障がいのある子どもの特性の理解と、本人の「強み」を引き出し、社会で活躍することができるような相談体制の在り方や支援の方向性について考える。	全ての校種の希望者
特別支援学校 特別支援学級 言語通級指導教室 新任担当教員研修	・勤務校	【第1日目】 5月22日（月） 【第2日目】 8月1日（火） 【第3日目】 10月2日（月）	児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善又は克服するための適切な知識や実践的な指導力及び学級経営力を身に付ける。	小中義特 該当者	
ユニバーサルデザインの授業づくり ～実践から学ぶ、誰もがわかる、ユニバーサルデザインの授業・環境づくり～	・教育総合センター ・中濃総合庁舎 ・飛騨総合庁舎	12月8日（金）	教職の基礎形成を図るため、ユニバーサルデザインの授業づくりや環境設定について、具体的な改善方法や支援の在り方を学ぶ。	すべての校種の2～5年目の希望者 特別支援教育の経験が少ない希望者	
発達障がいのある幼児児童生徒への支援 ～作業療法士の視点から学ぶ（やりにくさの捉え方、感覚統合）～	・教育総合センター ・中濃総合庁舎 ・飛騨総合庁舎	10月6日（金）	小・中学校、義務教育学校の通常の学級に在籍する支援を要する児童生徒を事例として、困難さの要因分析の考え方や困り感に対応した支援の仕方を、専門家（作業療法士等）の視点から学び、実践力を身に付ける。	全ての校種の特別支援教育担当の2～5年目の希望者 特別支援教育の経験が少ない希望者	
個別的教育支援計画の作成・活用 ～作成の基本から、その活用までを学ぶ～	・勤務校	5月18日（木）	自身の担当する支援を必要とする幼児児童生徒の個別的教育支援計画作成のポイントを理解する。	幼認小中義高の特別支援教育担当2～10年目の希望者	
	・勤務校	7月7日（金）	作成した個別的教育支援計画の校内・校外への有効な活用方法を学ぶ。	幼認小中義高の特別支援教育担当11年目以上の希望者	
障がい種別の実践者から学ぶ特別支援学級、通級指導教室の授業づくり	・総合教育センター	6月7日（水） 6月14日（水） 7月6日（木） 7月14日（金）	障がい種別の実践者より、HR・学級経営のノウハウや児童生徒の実態分析から授業づくりについて学び、自らの実践に役立てる。	小中義高の特別支援学級・言語通級指導教室の担当になって2年目～10年目の希望者	

医学・福祉の視点から学ぶ特別支援教育（2回講座）～発達障がいのある幼児児童生徒への支援～	・勤務校 ・総合教育センター	9月13日（水） 9月14日（木）	医学や福祉の専門家による2回連続講座で知識を深め、特別な支援に関する具体的な指導力の向上につなげる。	全ての校種の基礎的な特別支援教育に対する知識・技能を有する希望者 発達障がい等を有する幼児児童生徒の指導・相談経験が3年程度の希望者
ICT活用と読み書きに困難のある子どもの学び	・勤務校	9月5日（火）	読み書きに困難のある子の背景やICTの活用の講話を通して、発達障がいのある児童生徒の読み書きの指導について学び、指導・支援に活かす。	全ての校種の希望者
交流及び共同学習～共に学び、互いに成長し合える交流であるために～	・勤務校	6月5日（月）	「通常の学級と特別支援学級」「居住地校交流や学校間交流」の交流及び共同学習の実践から、共に学び、互いに成長し合える交流及び共同学習の在り方について学ぶ。	小中義高特の希望者
医療的ケア専門研修	岐阜県立看護大学	8月3日（木）	・医療的ケアと障がい児 ・てんかんの理解と発作時の対応 ・手洗い、坐薬の挿入 ・バイタルサインの意味と測定 ・吸引（口鼻腔・気管内吸引）・排痰 ・経管栄養（経鼻・胃ろう）	全ての校種の希望者
e-Learning 多様なニーズに応じた特別支援教育講座～現場で役立つコンテンツが見つかる（県内・県外の特別支援教育コンテンツより）～	e-learningシステム	8月1日（火）～ 1月31日（水）	特別支援教育の基礎的な知識について、国立特別支援教育総合研究所のコンテンツや県内各特別支援学校（コア・スクール）の共有資料等を基に、自らのニーズや障がい種に応じて、概論的に学ぶ。	全ての校種の希望者
発達障がいのある子の性教育	・勤務校	10月11日（水）	医学の専門家による講話と演習を通して、発達障がいのある幼児児童生徒の性教育について学び、指導・支援に活かす。	全ての校種の希望者
発達障がいのある子の「見る力」に対する指導	・勤務校	11月16日（木）	オプトメトリストによる講話と演習を通して、発達障がいのある幼児児童生徒の見る力について学び、指導・支援に活かす。	全ての校種の希望者
発達障がいのある学生に対する支援の実際～高等教育機関における発達障がい学生に対する支援の実際～	・勤務校	8月30日（水）	心理学の専門家による講話と校種間を越えたグループでの支援の検討を通して、高等教育機関における発達障がい支援について学び、長期的な視点をもって学齢期の支援に活かす。	全ての校種の希望者
知的障がいのある児童生徒の学び～アセスメントを基にした授業づくり～	・総合教育センター	7月24日（月）	知的障がいのある児童生徒の発達段階や個別の指導計画に基づいた授業づくりを学ぶ。	知的障がい学級を担任している2～5年目の特別支援学校の希望者
知的障がいのある児童生徒の学び～教科指導を見直す～	・総合教育センター	7月31日（月）	知的障がいのある児童生徒の教科指導の在り方について改めて見直し、授業改善、指導力の向上を図る。	知的障がい学級を3年以上経験しており、今年度も知的障がい学級を担任及び知的障がい学級の教科の授業を担当している特別支援学校の希望者
複障がい学級の指導～基礎から学ぶ～	・総合教育センター	8月25日（金）	専門家やコア・ティーチャーから重度重複障がい学級の指導に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を習得することで実践的指導力を身に付ける。	2～5年目及び重複障がい学級を担任して1～3年目の教員
重複障がい学級の指導～作業療法士と共に考える「からだ」の授業～	・総合教育センター	8月3日（木）	重度重複障がい学級の身体の動きの困難さの要因分析の考え方を、専門家（作業療法士等）の視点から学び、実践力を高める。	重複障がい学級の担当しており自立活動【身体の動き】にかかわる授業を実践している特別支援学校の希望者
ICT活用実践研修	・総合教育センター	【導入編】 7月5日（水） 【活用編】 8月25日（金）	・一人一台端末を活用した授業について ・一人一台端末を活用した個に応じた授業支援、教材作成について	特希望者
特別支援教育コーディネーター研修	・勤務校	第1日4月28日（金） 第2日11月2日（木）	発達障がいを含め、障がいのある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応するとともに、校内支援体制の整備を推進するため、特別支援教育コーディネーターとして必要な最新の知識や情報の習得と実践力を身に付ける。	全ての校種の該当者

この他、経験年数・職務に応じた講座等、実施している。